

マルチパートナーシップ

郷土への愛着を深める協力関係を構築 団体間のコーディネート等を行う

神村 健太郎

(ふじさわ新市政会)

郷土への愛着を高め、マルチパートナーシップの推進... 郷土への愛着を深めていくマルチパートナーシップの推進... 郷土への愛着を深めていくマルチパートナーシップの推進...

不祥事の再発防止 専門部署の設置を

武藤 正人

(藤沢市公明党)

不祥事が多発している本市の体質を改善するためには、市民への責任を果たすことに特化した専門的組織をつくり、再発防止に... 不祥事が多発している本市の体質を改善するためには、市民への責任を果たすことに特化した専門的組織をつくり、再発防止に...



避難所運営の課題を共有する取り組みが進められている

先進的な事例を広く紹介 各地区の防災訓練 地域防災力の強化につなげる

阿部 すみえ

(藤沢市公明党)

自然災害が多発する中、自助、共助、公助に対する市民の意識が高まってきた... 自然災害が多発する中、自助、共助、公助に対する市民の意識が高まってきた...

中で、その機能や内容も含めて検討していく。市政への信頼回復のためには、実効性のある再発防止策をつくりあげ、それを運用する職員の意識を改革し、市役所の組織風土から生まれ変わる必要があると考えている。

台湾との地域間交流 さらなる観光誘客を

山口 政哉

(市民クラブ藤沢)

台湾からの観光誘客について、本市ではどのように取り組んでいるのか。本市では、海外誘客事業の重点エリアに東アジアを位置づけ、中でも台湾を中心に積極的な誘客活動を実施してきた。藤沢市観光協会、観光事業者や鉄道関係会社等と連携して台湾の旅行博に出展するとともに、台湾の観光誘客をさらに進めたい。

居場所事業への支援 取り組みの考え方は

原田 伴子

(市民クラブ藤沢)

藤沢市地域包括ケアシステムの推進において、課題を抱えた方への支援の入り口や場となる地域の縁側事業等の支援者との連携を強化していきたい。ひとり暮らし高齢者の増加や所得格差など、多種多様な課題を抱えた方に対応するため、地域の

視野に取り組んでいきたいと考えている。現在の進捗状況は

江の島のバリアフリー 現在の進捗状況は

有賀 正義

(無所属クラブ)

オリンピック開催を見据え、市は国内外からの観光客数を年間200万人とする目標を掲げているが、そのためにはさらなる取り組みが必要である。中でもオリピック会場となる江の島のバリアフリー化が喫緊の課題であるが、現在の進捗状況を聞きたい。



早期のバリアフリー化が求められている江の島

ハード面とソフト面を合わせた方向性をまとめ、今年度の基本計画策定に向けて取り組んでいきたいと考えている。

大型開発事業 抜本的な見直しを

柳沢 潤次

(日本共産党藤沢市議会議員団)

今後5年間の財政見直しにおける公共施設再整備以外の大型開発等事業費の見込みを聞きたい。現在、中期財政フレームを作成しており、現段階では公共施設再整備以外の投資的経費は一般財源ベースの合計で約340億円と試算している。

旧藤沢高校跡地 主体的な活用を

酒井 信孝

(市民派クラブ)

旧藤沢高校跡地内の市所有地である廃道敷(旧赤道)は約1300平方メートルあり、想定売却価格は1億4000万円程度になるとの答弁があった。市はこれらの土地を集約して主体的に活用するか売却するべきである。市所有地が開発事業の設置する(仮称)交流センター等の事業用地として利用されることとなっているのは市にとって不利益であるのは明らかであるが、見解を聞きたい。

外国人の国旗や国歌を敬意を払う学習を 東京オリンピック等国際大会の開催を見据え、参加国の歴史や文化を象徴する国旗や国歌に敬意を示す態度を身につけることが必要と考えるが、学校での取り組みを聞きたい。小中学校では、他国の国旗や国歌を尊重することが国際的な儀礼であることとを学習するとともに、海外の学校との交流活動等において、その国の人々や文化を理解し敬意を持つことができるよう指導している。

東京2020大会を契機に、他国の国旗や国歌に触れることを通じて、国際感覚を高め、他国の人々や文化を尊重する態度の育成を図っていく。国際交流においては、日本の文化を知り、誇りを持つことも重要だが、教育委員会の見解を聞きたい。教育委員会としては、児童生徒が自国の文化や伝統を大切に、その上で他国を尊重する姿勢でさまざまな国の人と接することは、国際社会を生きていく上で重要と捉えている。そのために、外国出身者による学習活動の充実を図るとともに、他者を尊重する態度の育成や礼節を身につけることなどに努め、自国の文化や伝統を再認識することについて各